

日 本 史

〔注意〕記述式で解答する場合は解答用紙Aを、マーク式で解答する場合は解答用紙Bを使用せよ。

- 1 次の文章を読み、①文中の空欄 ～ に当てはまる語句を答えよ（解答用紙A）。
 ②文中の空欄（ 1 ）～（ 5 ）に当てはまる語句を下記の【語群】から選び、その記号をマークせよ（解答用紙B）。③文中の下線部(1)～(5)に関係が深い史料を下記の【史料群】から選び、その記号をマークせよ（解答用紙B）。なお、史料はわかりやすくするために改めたところがある。

日本における史書の編纂は、王家の由来や事績を伝えることを主眼に始まった。遅くとも6世紀には大王の系譜などを中心とした「」や、大王に関する伝承などをまとめた「旧辞」が作られていたと考えられている。その後、厩戸王（聖徳太子）と（ 1 ）によって『天皇記』や『国記』が編纂された。それは乙巳の変に際して大半が失われ、現存しない。

最初の勅撰の正史は『日本書紀』であり、天皇の正統性を示す神話から始まり、歴代の天皇ごとに事績を編年体を基本として叙述している。『日本書紀』の完成は「これより先、一品（ 2 ）親王、勅を奉わりて、日本紀を修す。ここに至りて、功成りて奏上す」として、『』の養老4年（720）5月に記録されている。

朝廷による修史事業は『日本書紀』・『』から10世紀初頭に完成した『日本三代実録』まで続いた。9世紀の大学では中国の史書・文学を学ぶ学科であるが隆盛し、政治においても文人貴族が活躍した。史書は政治を行ううえでも参考にされた。文人貴族として宇多天皇の信任を得た（ 3 ）は正史を内容別に分類した『類聚国史』を編纂し、参照しやすくしている。

10世紀以降も朝廷は六国史につづく史書の編纂を計画したが、完成することはなかった。律令体制の崩壊とともに、朝廷が各地の情報を把握することが困難になり、日本の歴史を総体的に把握するという志向も失われていった。

漢文で書かれた国史に代わって登場したのが、貴族社会の来歴を仮名によって書き記した歴史物語である。その代表作が藤原氏の繁栄を描いた『栄華物語』であり、11世紀中頃に前編が書かれ、11世紀末頃に後編が加えられたと考えられている。また11世紀後半から12世紀前半に成立したと考えられる『（ 4 ）』は鏡物や四鏡と呼ばれる歴史物語の最初のものであり、藤原道長までの撰関家の歩みを描いている。

大きな合戦や戦乱が起こるようになると、その経緯や様相を書き記した軍記物が作られるようになった。『将門記』はその初期のものであるが、それに続いて前九年合戦を描いた『陸奥話記』、後三年合戦を描いた『奥州後三年記』をはじめ、主要な戦乱ごとに軍記物が作られた。軍記物は中世を通じて作られたが、そのなかでも源平内乱を描いた『平家物語』や南北朝内乱を描いた『太平記』は、単なる合戦の叙述にとどまらず、政治思想や歴史認識において後世に大きな影響を与えた。

政治や社会が大きく変化するなか、歴史への評価を鮮明にした史論も書かれた。撰関家出身で天台座主を務めた慈円は武家政権が勃興する時代を生き、『愚管抄』を著して独自の史論を展開した。また南北朝の内乱期に生きた北畠親房は、歴史を論評しながら南朝の正統性を説いた著作を残した。

武家の史書は、鎌倉幕府の前半期の出来事を中心に記した『D』が知られているが、編纂の経緯などに不明な点を残している。武家による史書編纂が本格化するのは江戸時代になってからである。寛文10年（1670）に林鶯峯らによって完成された『本朝通鑑』は、神代から後陽成天皇までの歴史を扱っている。また儒者の立場から歴史を論じる著作も現れた。新井白石の『（ 5 ）』は公家政権から武家政権へと推移する過程を14の段階で論じている。また徳川光圀が明暦3年（1657）に始めた『E』の編纂は明治39年（1906）まで続いたが、この編纂事業のなかで朱子学的な名分論に立った水戸学が生み出された。

【語群】

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| あ. 水鏡 | い. 紀貫之 | う. 日本外史 | え. 大鏡 | お. 舎人 |
| か. 刑部 | き. 蘇我蝦夷 | く. 橘広相 | け. 武家事紀 | こ. 読史余論 |
| さ. 菅原道真 | し. 安積 | す. 蘇我馬子 | せ. 増鏡 | そ. 蘇我稲目 |

【史料群】

- あ. 近く本朝をうかがうに、承平の将門、天慶の純友、康和の義親、平治の信頼、これらは奢れる心も、たけき事も、皆とりどりにこそありしかども、間近くは六波羅の入道前太政大臣平朝臣清盛公と申しし人のありさま、伝えうけたまわるこそ、心も詞も及ばれぬ。
- い. 足利殿の末、織田家勃興して將軍を廢し、天子を挟みて天下に令せんと謀りしかど、事未だ成らずして凡十年がほど其の臣光秀に弑せらる。豊臣家、其の故智を用い、みずから関白となりて天下の権を恣にせしこと凡そ十五年〈四変〉。そののち終に当代の世となる〈五変〉。
- う. ここに右京権大夫義時の朝臣思うよう、「朝の護り源氏は失せ終わりぬ。誰かは日本国を知行すべき。義時一人して万方をなびかし、一天下を取らんこと、誰かは争うべき」。
- え. 永保三年の秋、源義家朝臣、陸奥守になりて、俄に下れり。実衡らまず戦いのことを忘れて、新司を饗応せん事を営む。三日厨ということあり。
- お. 平氏の跡形なき滅びよう、またこの源氏頼朝將軍、昔今ありがたき器量にて、ひしと天下を鎮めたりつる跡の成り行くよう、人のしわざとはおぼえず。頭には武士が世にてあるべしと、宗廟の神も定め思しめしたることは、今は道理にかないて必然なり。
- か. そもそも「神道のことはたやすく表さず」ということあれば、根元をしらざれば猥りがわしき始めともなりぬべし。その費えを救わんために、聊か勅し侍り。神代より正理にて受け伝えるいわれを述べんことを志して、常に聞こゆることをば載せず。しかれば神皇の正統記とや名づけ侍るべき。

き。世始まりて後、この国のみかど六十余代にならせ給いにけれど、この次第書き尽くすべきにあらず。こちよりの事をぞ記すべき。世の中に、宇多の帝と申す帝おわしましけり。その帝の御子達あまたおわしましけるなかに、一の御子敦仁の親王とましけるぞ、位につかせ給いけるこそは、醍醐の聖帝と申して、世の中に天の下めでたき例にひき奉るなれ。

く。六箇郡の司に安倍頼良という者ありき。これ同忠良が子なり。父祖ともに果敢にして、自ら酋長を称し、威権甚だしくして、村落をして皆服えしめ、六郡に横行して、庶士を囚俘にし、驕暴滋蔓にして、漸くに衣川の外に出づ。

け。ここに旧辞の誤りたがえるを惜しみ、先紀の^{あやま}謬^{まじわ}り錯れるを正さんとして、和銅四年九月十八日に、臣安万侶に詔して、稗田阿礼の^{よめ}所誦る^{した}勅語の旧辞を撰び録して^{たてまつ}献上らしむと言えれば、謹みて詔旨の隨に、子細に採りひろいぬ。

こ。さいつころ雲林院の菩提講に詣でて侍りしかば、例人よりはこよのう年老い、うたてげなる翁二人、媼と行きあいて、同じ処に居ぬめり。

日本史の試験問題は次に続く。

2 次の文章を読み、①文中の空欄 A ～ E に当てはまる語句を記入せよ（解答用紙 A）。②文中の空欄（ 1 ）～（ 9 ）に当てはまる語句を下記の【語群】から選び、その記号をマークせよ（解答用紙 B）。③下記の【設問】に答えよ（解答用紙 B）。なお、史料はわかりやすくするために改めたところがある。

I. 明治政府は、徴税、徴兵や教育など様々な行政の基礎台帳となる戸籍を編成した。これは、江戸時代に住民台帳の役割を果たしていた（ 1 ）とは異なり、行政当局が直接住民を把握する仕組みであった。

1872年に国民皆兵の必要性を述べる徴兵告諭が出され、翌年には徴兵令が出された。徴兵告諭にあった「人たるもの固より心力を尽くし国に報ぜざるべからず。西人これを称して A という。」という文言が誤解されたこともあり、徴兵令反対一揆が起こった。

徴兵令により満20才になった男子は兵役の義務が生じることとなった。しかし、兵役免除規定があったため、人々は様々な方法で兵役を逃れようとした。これに対し、政府は兵役免除の幅を次第にせばめていった。国民皆兵の原則が確立したのは、免除規定が廃止された（ 2 ）年のことであった。

当初軍隊は、日本国内の暴動を鎮圧する目的で設けられたが、後に外国との戦争に備えることを主眼とするようになった。その動きは1882年に朝鮮の漢城で起こった（ 3 ）の後に本格化した。（ 3 ）が起こると、清は軍隊を派遣して反乱を取め、軍隊を駐留させ、朝鮮への干渉を強めた。

一方、日本も朝鮮政府と交渉し、軍隊を駐留させた。日清両国は、1885年の B 条約によって朝鮮から撤兵を取り決めた。その後日本は、1888年には陸軍の編制を機動的な（ 4 ）制へと移行し、海外派兵が可能な体制を整えていった。

日清戦争後の下関条約で台湾の割譲が認められると、日本は台湾総督府を設置し、初代総督に海軍軍人の C を任命した。日本は、台湾の各地で起こった抵抗運動を武力で押さえる一方、1898年には民政局長に（ 5 ）を就任させ、土地調査事業や交通基盤の整備を行った。

II. 1911年、中国では孫文ら革命派の指導する（ 6 ）がおこり、翌年、孫文を臨時大総統とする中華民国臨時政府が南京に誕生し、清が滅亡した。この動きに刺激された日本の陸軍は、朝鮮に駐屯する二個（ 4 ）の増設を要求したが、第2次（ 7 ）内閣が陸軍の要求を拒否すると、陸軍大臣 D は単独で天皇に辞表を提出した。陸軍は後任の大臣を出すことを拒否したため、内閣は総辞職した。

後継首相は、宮中をつかさどる（ 8 ）であり侍従長も兼ねていた人物が指名された。この内閣は、即位直後の大正天皇の詔勅によって組閣したこともあり、政治を私物化したとの批判を受けた。倒閣運動は全国的な国民運動につながり、内閣はわずか53日で総辞職した。

Ⅲ. 日本の敗戦後、アジアの植民地は独立に向けて動き始めた。インドネシアは1945年に独立を宣言したが、植民地支配を行っていた（ 9 ）との間で激しい独立戦争がおこなわれた。中国では、1946年から国民党と共産党の間で内戦が始まった。その結果、共産党・人民解放軍が勝利し、1949年に中華人民共和国が成立した。敗れた国民党は台湾にのがれ、E を総統として中華民国を存続させた。

【語群】

あ. イギリス	い. 犬養毅	う. 大隈重信	え. オランダ	お. 清浦奎吾
か. 義和団戦争	き. 宮内大臣	く. 検地帳	け. 元老	こ. 甲申事変
さ. 壬午事変	し. 後藤新平	す. 小物成帳	せ. 西園寺公望	そ. 参謀本部
た. 宗門人別改帳	ち. 師団	つ. フランス	て. 鎮台	と. 辛亥革命
な. 内大臣	に. 北清事変	ぬ. 山県有朋	ね. 1889	の. 1894

【設問】

文中の下線部について、兵役免除について誤っている文章を一つ選び、その記号をマークせよ。

- あ. 1879年の兵役免除者は、徴兵該当者の96パーセントにのぼった。
- い. 代人料270円を納めた者は兵役を免除された。
- う. 士族は兵役を免除された。
- え. 跡継ぎのいない家の養子になり徴兵を逃れる者がいた。

3 次のⅠ～Ⅹの文章を読み、(a)(b)それぞれの下線部について正誤を判断し、(a)(b)ともに正しければあを、(a)が正しく(b)が誤りであればいを、(a)が誤りで(b)が正しければうを、(a)(b)ともに誤りであればえをマークせよ（解答用紙B）。

- Ⅰ. (a) 崇峻天皇が暗殺された後、群臣に擁立された女性天皇が推古天皇である。
(b) 桃園天皇の急死後に即位した桜町天皇は、江戸時代では2人目の女性天皇である。
- Ⅱ. (a) 額田王の歌は、和歌約4500首からなる『万葉集』に収められている。
(b) 藤原道綱の母は、『更級日記』で夫藤原兼家との結婚生活を自叙伝風の物語に著した。
- Ⅲ. (a) 北条政子は、鎌倉幕府において大きな影響力を持ち、承久の乱では鎌倉武士たちをひとつに結びつけた。
(b) 日野富子は、將軍継承問題に深く関わって応仁・文明の乱の要因をつくったり、守護に高利で貸し付けを行ったりして、悪評を招いた。
- Ⅳ. (a) 『見返り美人図』は菱川師宣の肉筆の浮世絵の作品である。
(b) 『婦女人相十品』は鈴木春信の作品で、美人画の最高峰と言われる。
- Ⅴ. (a) 長野県諏訪地方の製糸工場で工女として働いていた老女から、製糸工女たちの様々な苦労や悲劇を聞き取り描いたのが、細井和喜蔵の『あゝ野麦峠』である。
(b) 自分自身と妻の紡績工場での労働体験に基づき、紡績女工の労働環境の過酷さを描いたのが山本茂実の『女工哀史』である。
- Ⅵ. (a) 平塚らいてうらによって1911年に設立された青鞜社は、女性の感性の解放をめざし、女性解放運動を始めた。
(b) 山川菊栄らによって1921年に設立された赤瀾会は、少数の女性社会主義者の集まりであった。
- Ⅶ. (a) 市川房枝は、治安警察法第5条の「女子の政治結社・政治集会禁止」条項を撤廃する運動の中心となった大日本婦人会の設立に関わった。
(b) 母となる女性や母親の地位をどのように保護し、生活を保障するかという母性保護論争が平塚らいてうらにより『婦人公論』で展開された。
- Ⅷ. (a) 遊郭に近い下町の少女美登利と寺の息子信如の淡い恋をロマン的に描いた『たけくらべ』は、与謝野晶子の作品である。
(b) 青春の熱情と官能的な生の賛歌が含まれる歌集の『みだれ髪』は、樋口一葉の作品である。

- IX. (a) 1945年の幣原喜重郎内閣の時に女性参政権をはじめて認めた新選挙法が制定され、満20歳以上の男女に選挙権が与えられた。
- (b) 1946年に戦後初の総選挙が行われ、39名の女性議員が誕生した。
- X. (a) 第一次世界大戦時の好況のなかで、タイピストや電話交換手などの仕事に携わる女性は職業婦人と呼ばれた。
- (b) 服装では、洋服を着る女性も増え、銀座や心斎橋などの繁華街を歩く若い女性を表すモガという言葉も昭和初期に流行した。

2021 年度 入学試験問題

地理歴史・数 学

(60 分)

日本史 [2 ～ 7 ページ]
 世界史 [8 ～ 17 ページ]
 数 学 [18 ～ 19 ページ]

受験についての注意

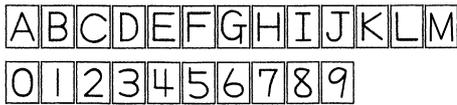
1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. この問題冊子は 19 ページまでである。試験開始後、問題冊子の印刷不鮮明、ページの抜け落ち、ページ順序の誤りまたは解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 解答用紙は**記述式解答用紙 A**、**マーク式解答用紙 B** 各 3 枚である。選択する科目によって解答用紙が異なるので、該当する科目の解答用紙を使用すること。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に受験番号と氏名及びフリガナを正しく丁寧に記入すること（下の「解答用紙 記入上の注意」を参照）。
 選択しない科目を含め、3 枚とも記入すること。
5. 日本史、世界史、数学の中から 1 科目を選択し解答すること。
6. 選択しなかった科目の解答用紙は、試験終了後に回収する。
7. **数学**を選択した者は、**数学のマーク式解答用紙 B** も必ず提出すること。
8. **数学の記述式解答用紙 A** には、第 2 面にも解答欄があるので注意すること。
9. 解答は**解答用紙の所定欄**に記入すること。その他の部分に記入された内容は採点対象外とする。
10. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

解答用紙 記入上の注意

1. 受験番号の記入について

- (1) 受験番号（英字と算用数字）は、次の記入例のように正しく丁寧に記入すること。

(記入例)



- (2) マーク式解答用紙 B の受験番号マーク欄は次の記入例のようにマークすること。

(記入例) 受験番号が A 0 0 0 5 8 の場合

受 験 番 号					
A	0	0	0	5	8
●	●	●	●	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

2. マーク式解答用紙 B における解答の記入について

- (1) 解答は、所定欄に H、F、HB の黒鉛筆またはシャープペンシルで正しくマークすること。

良い例

- ① 解答が一つの場合、たとえば「5」と解答したいとき、

1	○	○	○	●	○	○
---	---	---	---	---	---	---

 のように○のマーク枠の中を濃くぬりつぶすこと。
- ② 解答が二つ以上の場合、たとえば「1」「6」と解答したいとき、

1	●	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---	---

 のように○のマーク枠の中を濃くぬりつぶすこと。

悪い例

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○印でかこむ
✓印をつける
線を引く
ぬりつぶし方が不完全 |
| 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 4 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
- このような記入をしてはいけません。

- (2) 誤って解答したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してからマークしなおすこと。
- (3) マーク式解答用紙 B は、折りまげたり、破ったりしないこと。

〔注意〕記述式で解答する場合は解答用紙Aを，マーク式で解答する場合は解答用紙Bを使用せよ。

- 1 次の文章I～Xを読み，①文中の空欄 ～ に当てはまる語句を記入せよ（**解答用紙A**）。②文中の空欄（ 1 ）～（ 7 ）に当てはまる語句を下記の【語群】から選び，その記号をマークせよ（**解答用紙B**）。③下記の【設問】に答えよ（**解答用紙B**）。

I. この将軍は，応安の半済令が出された年に就任した。幕府政治の中心となる花の御所と呼ばれる新邸をつくったことでも知られる。「六分一殿」と呼ばれる一族の（ 1 ）らを討伐するなど，強化する守護を軍事的に制圧していった。

また，この将軍の時代には，南宋の官寺の制にならった五山・十刹の制がほぼ完成した。京都五山のうち， はこの将軍の創建である。

II. この将軍の在任中，関東では鎌倉公方が関東管領（ 2 ）を謀殺したことが契機となって大乱が起こり，鎌倉公方は鎌倉を出て古河に居を構えた。これに対し幕府は将軍の兄 を派遣して鎌倉公方を討伐しようとしたが，鎌倉に入ることが出来なかった。また，関東管領も分裂して争い，関東は争乱状態となった。

III. この将軍は，早世した5代将軍の後継者を決めずに4代将軍（ 3 ）が死去したため，神意をうかがうとして，くじ引きで選ばれた。万人恐怖と称された専制的な政治を展開し，親幕府派の関東管領と対立した鎌倉公方を滅ぼした。

IV. この将軍の在任中には，南鐐二朱銀の鑄造などの経済政策が進められた。しかし， 山の噴火により飢饉が深刻化するなど，自然災害が多発した。政治への反発が強まり，経済政策を推進してきた老中は失脚した。

V. この将軍の在任中には，思想や風俗の取り締まりが強化された。出版元の蔦屋重三郎が処罰されるなど，出版統制が強められた。また，幕府の学問所において，朱子学以外の学派の講義を禁止し，儒官には，（ 4 ）が登用された。

VI. この将軍は，庶民教育の充実を目指し，儒教の徳目を説いた『六論衍義大意』を刊行した。その結果，各地に儒学塾が設立された。一方，キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入を許可し，オランダ語の習得を（ 5 ）に命じるなど，西洋の新知識導入を図った。

Ⅶ. この将軍は、父の跡を継いで幼少の時に将軍となった。在任中には引付が設置されるなど、得宗への権力集中が進み、有力御家人が減ぼされていった。その後、この将軍は将軍の地位を奪われ京都へ追放され、後嵯峨上皇の子 が将軍に迎えられた。

Ⅷ. この人物は征夷大將軍として東北の蝦夷の制圧を進めた。しかし、軍隊の派遣に加え、新しい都である の造営が行われたことから、国費と民力を消耗させ、これらの事業の継続をめぐる徳政相論が起こった。徳政相論の結果、新都の建設と軍事的征討は停止された。

Ⅸ. この将軍が在任中に、幕府では名目化した将軍権力の立て直しと、御家人側の権利の回復などを政策の中心とする弘安の徳政が行われた。しかし、政策を進めた（ 6 ）は、御内人の中心である内管領に減ぼされた。

Ⅹ. この将軍は、（ 7 ）藩主から将軍となった。儒学にもとづく政治によって将軍の権威を強化し、朝鮮からの国書における将軍の呼称を「日本国大君」から「日本国王」へと改めさせた。

【語群】

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| あ. 足利義量 | い. 足利義持 | う. 安達泰盛 | え. 上杉氏憲 | お. 上杉憲実 |
| か. 上杉憲忠 | き. 大内義弘 | く. 荻生徂徠 | け. 紀州 | こ. 甲府 |
| さ. 杉田玄白 | し. 土岐康行 | す. 野呂元文 | せ. 畠山重忠 | そ. 林信篤 |
| た. 尾藤二洲 | ち. 前野良沢 | つ. 三浦泰村 | て. 水戸 | と. 山名氏清 |

【設問】

- Ⅲの将軍について、くじ引きが行われた神社を下記の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
あ. 石清水八幡宮 い. 宇佐八幡宮 う. 筥崎八幡宮 え. 鶴岡八幡宮
- 生類憐みの令を廃止した将軍は誰か。Ⅰ～Ⅹの文章でこの将軍に該当するものを1つ選び、その記号をマークせよ。
- Ⅰ～Ⅹの下線の出来事を時代順に古いものから並べた場合、6番目に来るものは何か。その文章を一つ選び、その記号をマークせよ。

2 次の文章を読み、①文中の空欄 A ～ E に当てはまる語句を記入せよ（解答用紙 A）。②文中の空欄（ 1 ）～（ 5 ）に当てはまる語句を下記の【語群】から選び、その記号をマークせよ（解答用紙 B）。③下記の【設問】に答えよ（解答用紙 B）。

18世紀後半のイギリスでは、機械の発明・応用による生産機構の画期的変革、いわゆる、産業革命が進展した。日本の産業は、海外の知識や技術を導入することで発展してきた。

ペリーが浦賀に来航する前後から、幕府や諸藩は外国の技術を受け入れて近代化を図ろうとした。当初は、砲台や反射炉の建設、大砲の製造などの軍事技術の導入であった。その代表例として、高島秋帆から砲術を学んだ伊豆韮山の代官 A が中心となって築造した反射炉があげられる。この築造に外国の知識が活かされた。また幕府は、横須賀に製鉄所を建設し、そこにも外国の知識が活かされている。

薩摩藩は積極的に殖産興業政策を進め、反射炉や溶鉱炉などを含む（ 1 ）と呼ばれる洋式工場群を建設し、藩の軍事力の強化をはかった。

明治時代に入り、日本は富国強兵を実現する近代産業育成政策を積極的に行った。それが殖産興業政策である。1870年に設置した殖産興業関係の官庁である（ 2 ）が中心となって、お雇い外国人の技術指導などにより、鉄道や鉱山、炭鉱、造船、電信、郵便などの分野で欧米の技術を移植する形で殖産興業政策は進められた。海運は、琉球王国の漁民殺害がきっかけとなった海外出兵である B の際、兵員の輸送に多大な貢献をした岩崎弥太郎の経営する会社が、政府の手厚い保護のもとで急速に成長した。

1873年に設置された（ 3 ）は、国内産業の改良に主導的な役割を果たした。製糸業においては、輸出の中心となっていた生糸の生産拡大に力を入れ、フランス製機械を導入した官営模範工場の富岡製糸場が設立され、海外の輸入機械に学び、器械製糸工業が生まれた。また印刷技術も発展し、日刊新聞や雑誌が次々に創刊されるようになった。これらの印刷には、 C が量産技術の導入に成功した鉛製活字が用いられた。

政府の殖産興業政策の結果、鉄道や紡績を中心に会社設立ブームがおこり、機械技術を本格的に用いる産業革命が日本でも始まった。鉄道業では、華族を主体として1881年に設立された日本鉄道会社の成功をきっかけに、民営鉄道も幹線の建設を進めた。しかしながら、日露戦争直後、軍事的な配慮もあって、全国鉄道網の統一的管理をめざす D が1906年に制定され、民営鉄道17社が政府に買収された。

このような産業の発達には負の側面もある。日本の産業革命の中心であった紡績業の労働者は、1日12時間、昼夜二交替制で夜間労働も強いられ、製糸業では1日14時間から15時間労働が普通であるなど、過酷な労働条件で働かされていた。また格差も生まれ、都市部の低所得者層の集住地域である「貧民窟」が社会問題化した。そのような実情を調査しまとめたのが、1899年刊の横山源之助による E である。さらに、公害問題も顕在化しはじめ、（ 4 ）財閥が経営していた足尾銅山から流れ出る鉱毒が渡良瀬川流域を汚染し、住民に大きな被害をもたらした。このことは（ 5 ）県の

県会議員を経て国会議員となった田中正造が国会で取り上げて以降、大きな社会問題となった。

【語群】

- | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|---------|
| あ. 茨城 | い. 外務省 | う. 群馬 | え. 工部省 | お. 時習館 |
| か. 集成館 | き. 逓信省 | く. 栃木 | け. 内務省 | こ. 農商務省 |
| さ. 兵部省 | し. 古河 | す. 三井 | せ. 三池 | そ. 明倫館 |

【設問】

- 文中の下線部(1)と(2)について、それぞれの国の組み合わせとして正しいものを一つ選び、その記号をマークせよ。
あ. (1)オランダ (2)オランダ
い. (1)オランダ (2)フランス
う. (1)フランス (2)オランダ
え. (1)フランス (2)フランス
- 文中の下線部(3)について、殖産興業を推し進めるために、1880年代までに政府が行ったことのうち該当しないものを一つ選び、その記号をマークせよ。
あ. 株仲間の廃止
い. 金本位制の実現
う. 関所や宿駅・助郷制度の撤廃
え. 駒場農学校の開設
- 文中の下線部(4)について、官営模範工場に該当しないものを一つ選び、その記号をマークせよ。
あ. 川崎造船所
い. 品川硝子製造所
う. 新町紡績所
え. 深川セメント製造所
- 文中の下線部(5)について、日本で最初の邦字日刊新聞に該当するものを一つ選び、その記号をマークせよ。
あ. 大阪毎日新聞
い. 東京日日新聞
う. 横浜毎日新聞
え. 読売新聞
- 文中の下線部(6)について、日本鉄道会社が1891年に全通させた区間として正しいものを一つ選び、その記号をマークせよ。
あ. 上野－青森
い. 大阪－京都
う. 新橋－横浜
え. 東京－神戸

3 次のⅠ～Ⅹの文章を読み、(a)(b)それぞれの下線部について正誤を判断し、(a)(b)ともに正しければあを、(a)が正しく(b)が誤りであればいを、(a)が誤りで(b)が正しければうを、(a)(b)ともに誤りであればえをマークせよ（解答用紙B）。

Ⅰ. 3世紀半ばから後半になると、大規模な前方後円墳をはじめとする古墳が西日本を中心に作られるようになった。

(a) 出現期における最大規模の古墳は、奈良県桜井市にある箸墓古墳であり、卑弥呼の墓とも考えられている。

(b) 古墳時代中期における最大規模の古墳は、大阪府堺市にある大仙陵古墳であり、仁徳天皇の陵墓と伝えられている。

Ⅱ. 奈良時代に入り、律令にもとづく国家体制が確立すると、中央政府による支配領域の拡大が行われるようになった。

(a) 日本海側では、712年に出羽国がおかれ、続いて秋田城が築かれた。

(b) 太平洋側では、724年に多賀城が築かれ陸奥国府が置かれた。

Ⅲ. 摂関時代になると、末法思想が貴族の間に浸透するようになる。

(a) 藤原頼通は阿弥陀堂を中心とした法成寺を建築した。

(b) 藤原道長は山城国の宇治に平等院鳳凰堂を建築した。

Ⅳ. 鎌倉文化では建築様式においても新たな傾向が見られた。

(a) 円覚寺の舍利殿は、細かい部材を組み合わせ整然とした美しさを表す禅宗様の建築様式で建てられた。

(b) 東大寺の正倉院宝庫は、大陸的な雄大さ、力強さを特色とした大仏様の建築様式で建てられた。

Ⅴ. 東山文化は、禅の精神の影響を強く受けた簡素さと、伝統文化の幽玄・侘を精神的な基調としていた。

(a) 慈照寺東求堂の同仁斎は、書院造の建築様式で建てられた。

(b) 大徳寺大仙院の庭園は、岩と砂を組み合わせ大自然をあらわした枯山水の代表的な庭園の一つである。

Ⅵ. 安土・桃山文化では城郭建築の発達が見られた。

(a) 織田信長が1576年に築城したのが、安土城である。

(b) 池田輝政が大工事を行って1609年に竣工したのが、姫路城である。

VII. 徳川幕府は、キリスト教の禁教策の徹底と貿易による利益の独占のために、外国との貿易を制限するようになった。

(a) 1636年に、長崎に出島が建設され、ポルトガル人はそこに収容された。

(b) 長崎の中国人は、1689年に唐人屋敷へ居住させられることとなった。

VIII. 近世に入ると鉱業技術が発達し、金・銀・銅の産出量が増加した。

(a) 石見の大森では銀の採掘が行われた。

(b) 伊予の阿仁では銅の採掘が行われた。

IX. 化政期から天保期にかけて、新たな私塾が設立された。

(a) 豊後日田では広瀬淡窓が咸宜園を開いた。

(b) 長崎ではシーボルトが鳴滝塾を開いた。

X. 尊王攘夷派と幕府側の争いは京都を中心とする近畿地方で数多く生じた。

(a) 1863年、尊王攘夷派の中山忠光と吉村虎太郎らは、但馬国生野の代官所を襲った。

(b) 1864年、近藤勇が率いる新撰組は、尊王攘夷派を旅館寺田屋で殺傷した。

二条良基は和歌・連歌など文芸における事績を残し連歌集『(4)』を編纂した。また観応の擾⁽⁵⁾乱において後光厳天皇を擁立するなど北朝の重鎮として活躍し、公家と武家の協調はその後も二条家の政治姿勢となった。徳川幕府が禁中並公家諸法度を制定した際は、二条昭実が協力している。また幕末の朝廷において二条斉敬は公武合体派の公卿として活躍し、明治天皇のもとで最後の摂政を務めた。

E は、源氏物語の注釈書『花鳥余情』を著すなど学識に優れ、政治意見書『樵談治要』を足利義尚に提出するなど幅広い分野で活躍した。その息子教房は、応仁の乱が起こると土佐に下向し、国人の支持を得て、所領であった幡多荘の経営に努めた。幡多荘は土佐国の西部の大荘園であり、教房の子房家から5代にわたり、幡多荘を拠点として戦国大名として歩んだ。4代目の兼定は豊後国の大名(5)の娘を妻として勢力を拡張したが、長宗我部元親と対立するようになった。

【語群】

- | | | | | |
|---------|----------|---------|---------|-----------|
| あ. 藤原安子 | い. 後三条 | う. 応安新式 | え. 鳥羽 | お. 大村純忠 |
| か. 堀河 | き. 藤原光明子 | く. 近衛 | け. 犬筑波集 | こ. 有馬晴信 |
| さ. 崇徳 | し. 菟玖波集 | す. 藤原宮子 | せ. 大友宗麟 | そ. 新撰菟玖波集 |

【設問】

- 文中の下線部(1)について、4家に分かれた藤原氏の動向について説明した文章として正しいものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
あ. 藤原仲麻呂は称徳天皇を擁立して新羅出兵計画を進めた。
い. 藤原冬嗣は平城天皇の信任を得て蔵人頭として活躍した。
う. 藤原広嗣は吉備真備らの排除を訴えて九州で挙兵した。
え. 藤原種継は桓武天皇の信任を得て平安京造営に尽力した。
- 文中の下線部(2)について、藤原忠平が摂関であった時に起こった出来事として正しいものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
あ. 三善清行が意見封事を提出して地方政治の改革を提言した。
い. 尾張国の郡司百姓等が国司である藤原元命の非法を訴えた。
う. 藤原純友が瀬戸内で、平将門が東国で反乱を起こした。
え. 初めての荘園整理令が出され、勅旨田等が停止された。

3. 文中の下線部(3)について、藤原道長・頼通が権勢を誇ったころの政治・社会について説明した文章として正しいものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
- あ. 藤氏長者は大学別曹である奨学院やその所領を管理した。
 - い. 重要な政策は陣定という会議で公卿の意見が求められた。
 - う. 重要な法令は太政官符に院宣を添えて諸国に通達された。
 - え. 地方政治は四等官制により国司が合議して執行していた。
4. 文中の下線部(4)について、五摂家以外で関白になった人物2人のうち1人は豊臣秀吉であるが、もう1人は誰か。次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
- あ. 徳川家康
 - い. 豊臣秀次
 - う. 豊臣秀長
 - え. 豊臣秀頼
5. 文中の下線部(5)について、観応の擾乱は南北朝の内乱を長引かせる一因となった。南北朝内乱期の出来事について述べた文章として誤っているものを一つ選び、その記号をマークせよ。
- あ. 近江・美濃・尾張に半済令が出された。
 - い. 足利尊氏は執事の高師直と対立し、殺害した。
 - う. 足利直義は尊氏の子直冬を重用した。
 - え. 足利尊氏は一時、南朝方となった。

日本史の試験問題は次に続く。

2 次の文章を読み、①文中の空欄 ～ に当てはまる語句を記入せよ（**解答用紙 A**）。②文中の空欄（ 1 ）～（ 7 ）に当てはまる語句を下記の【語群】から選び、その記号をマークせよ（**解答用紙 B**）。③下記の【設問】に答えよ（**解答用紙 B**）。

I. 安政の五か国条約にもとづき諸外国との貿易が横浜などで始まると、日本からは生糸・茶などの農水産物が多く輸出された。一方綿織物などの繊維工業製品や鉄砲などの軍需品が輸入された。国内外で金銀比価が異なるために金が流出し、幕府は新しく（ 1 ）を鑄造して対処した。

II. 幕末には、尊王攘夷派の長州藩らの勢力と公武合体派の薩摩藩・会津藩らの勢力の対立が深まった。薩摩藩主の父である島津久光は、勅使とともに江戸へ下り、公武合体のための改革を幕府に要求した。要求を受け入れた幕府は、会津藩主の を京都守護職に任じた。

急進化する尊王攘夷派に対し危機感を持った薩摩藩と会津藩は1863年、朝廷内の公武合体派の公家と協力して、尊王攘夷派で公家の（ 2 ）ら七卿や長州藩を京都から追放した。

III. 1868年1月、徳川慶喜は大坂から京都へ攻め上がったが、錦の御旗を掲げた官軍に敗北し、慶喜は江戸に逃れた。官軍は江戸に迫ったが、旧幕府側の勝海舟と官軍の参謀であった の話し合いにより、江戸城は無血開城されることとなった。しかし慶喜側近の幕臣を中心に結成された部隊である（ 3 ）は、上野に屯集し、新政府に抵抗した。

IV. 1887年、民権運動家は条約改正を批判し、地租軽減などを求める三大事件建白運動をおこすと、運動は急速にひろがった。これに対し政府は、同年（ 4 ）を定めて、中江兆民ら運動の中心人物を皇居から3里（約12km）外の地に追放した。一方政府は、運動に加わった（ 5 ）を逓信大臣として入閣させるなど、運動への譲歩をおこなった。

V. 1923年9月1日に発生した関東大震災により、東京市・横浜市を中心とした地域は甚大な被害を受けた。震災翌日の9月2日に が首相となり、復旧に当たった。大震災後、社会不安が増大する中、社会主義者の（ 6 ）が憲兵に殺害されるなど、警察や軍などによる組織的な暴力行使がなされた。

VI. 1929年に内閣総理大臣となった は、内政面では緊縮財政をとった。一方、外交面では協調外交を復活させ、ロンドン海軍軍縮条約の調印に踏み切った。しかし、東京駅で右翼青年に銃撃されて重傷を負い、その後死亡した。

VII. 政党の影響力が低下するに従って、軍部の力が増大するようになる。陸軍内部では既存の支配体制の打破と天皇親政を目指す 派と、軍の強力な指導による総力戦体制の確立を目指した

統制派が対立していた。1936年、E 派の一部青年将校が兵を率いて首相官邸などを襲い、要人を殺害するとともに首都東京の中枢を4日間にわたって占拠した。この事件を(7)という。

VIII. 高度経済成長の進展により、大都市圏では人口過密や交通渋滞といった都市化に伴う問題が生じるようになった。これにより都市住民の不満が増大したことを受けて、革新自治体が各地で生まれるようになった。1967年に美濃部亮吉が東京都知事に当選したのをはじめ、大阪や京都の知事や、横浜の市長に当選するなどして、広がりを見せた。

【語群】

あ. 姉小路公知	い. 大杉栄	う. 大原重徳	え. 尾崎行雄	お. 万延小判
か. 安政小判	き. 幸徳秋水	く. 五・一五事件	け. 後藤象二郎	こ. 堺利彦
さ. 三・一五事件	し. 三条実美	す. 集会条例	せ. 彰義隊	そ. 赤報隊
た. 新聞紙条例	ち. 保安条例	つ. 二・二六事件	て. 白虎隊	と. 星亨

【設問】

- 文中の下線部(1)について、条約の説明として誤っているものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
 - アメリカとの間の条約では、ハリスが日本に調印をせまった。
 - 神奈川・長崎・新潟・神戸の開港が決められた。
 - 日本に滞在する自国民への領事裁判権が認められた。
 - 日本は関税の税率決定権がなく、相互の協議によって協定関税を定めた。
- 文中の下線部(2)について、革新自治体の説明として誤っているものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
 - 公害の規制を強化した。
 - 公務員削減を訴えて支持を伸ばした。
 - 日本社会党・日本共産党などの支援を受けることが多かった。
 - 老人医療費の無料化など、福祉政策を推進した。
- 上記の文章IVとVの間に起こった出来事として誤っているものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
 - 辰野金吾が設計した日本銀行本店が竣工した。
 - 後藤新平が東京市長に就任した。
 - 東京日比谷に鹿鳴館が建設された。
 - 都市計画法により東京以外の都市でも都市計画が進められるようになった。

3 次の文章は、AさんとBさんが大学のレポート作成について話したものである。これを読み、文中の下線部(1)～(10)に最も関係のある史料を下記の【史料群】から一つ選び、その記号をマークせよ（解答用紙B）。なお、史料はわかりやすくするために改めたところがある。

A 日本史のレポートで、有名な合戦や戦乱などを調べようと思っている。テキストから、いくつかの史料を選んでみたんだ。

B 時代順に見ていくのがよいと思う。一番古い史料は何かな。

A 6世紀の初めに、九州北部の国造がヤマト政権におこした反乱に関する史料が最も古いものだ。⁽¹⁾

B ヤマト政権は、地方豪族の反乱を抑え、彼らの支配領域内に屯倉という直轄地を置いて支配を強化していったんだ。

A 中央政府が地方を支配下に置いていくのは、律令制の下でも同じで、テキストには東北や南西諸島の例が書いてあった。

B 中央政府の中でも争いはあった。天智天皇の死後、大海人皇子と大友皇子が皇位継承を巡って争った内乱の史料も載っていたね。⁽²⁾

A 藤原北家が台頭してくると、有力氏族の勢力をそぎ、政治の実権を握っていった。842年に皇太子恒貞親王を立てて謀反をくわだてたとする事件は有名だ。⁽³⁾

B 武士が登場すると、大規模な合戦が行われる。以仁王の令旨を受けて源頼朝が平家打倒のために兵を起こすなど、各地の武士たちも次々と挙兵し、内乱が全国に及んだんだ。⁽⁴⁾

A その後平家は倒され、鎌倉幕府が開かれるけれど、朝幕関係は悪化し、上皇が幕府の執権を追討することを命じた。この戦いに勝利した幕府は、西国における支配権が飛躍的に強化されたんだ。⁽⁵⁾

B 武士が登場すると、合戦の範囲が広がっていく様子がよく分かるね。

A 広範囲な合戦といえば応仁の乱が思い浮かぶ。幕府内部を二つに分けた争いとなり、『応仁記』には、全国が争乱状態に陥った様子が書かれている。⁽⁶⁾

A 戦国時代の始まりだね。全国的な争乱が収束に向かうのは豊臣秀吉の時だ。秀吉は、大名に対して停戦命令を出し、領土紛争の解決を豊臣政権に委ねるように通告した。⁽⁷⁾

B 江戸幕府は、武家諸法度で大名を統制し、新たに城を構えることや、無届けで城を修理することを禁止した。実際に、許可なしに居城の修理を行ったことから改易された大名もいた。法によって戦争を未然に防止したのだろうか。⁽⁸⁾

A 大坂の陣以降は大名同士の合戦は見られなくなる。平和な時代になると、武士に求められるものも変わってくるんだ。5代将軍綱吉は、儒教倫理を重視する立場から、武家諸法度を改訂し、戦争のみが武士に求められる時代ではないことを示したんだよ。⁽⁹⁾

B 大政奉還の上表文では、徳川慶喜が武家が政権を担ってきた経緯について触れている。大政奉還後には、再び大きな戦争が起こり、新政府が勝利した。⁽¹⁰⁾

A 合戦や戦乱の史料もいろいろあるね。もう一度史料を読み直さねば。

【史料群】

- あ. 今聞く。近江朝廷の臣等、朕が為に害せんことを謀る。これを以て汝等三人、^{すみ}急やかに美濃国に往きて、安八磨郡湯沐令多臣品治に告げ、機要を宣示して、当郡の兵を發せ。
- い. 凡そこの度の次第、関東の重事たるの間、沙汰の篇、始終の趣、^{はなは}太だ思し食し煩うの処、因幡前司広元申して云く、世すでに^{ぎょうき}澆季にして、^{きょうあく}梟悪の者、尤も秋を得るなり。天下に^{すみ}叛逆の輩有るの条、更に断絶すべからず。
- う. 貴殿御領分居城をば残し置き、その外の城は悉く破却有るべき旨、上意候。
- え. 諸国居城修補たると雖も、必ず言上すべし。
- お. 大將軍物部大連鹿火、^{みづか}親ら賊の帥磐井と、筑紫の御井郡に交戦う。(中略)遂に磐井を斬りて、果たして^{さかい}境場を定む。
- か. ひそかに^{おもいみ}以るに、^{ひさん}疲驂路に倦み、責むるに逐日の能を以てし難し。病鶴飛ぶを忘る。豈に其の^{りょうしょう}凌霄の効を望まん。
- き. 天下大いに動乱し、それより永く五畿七道悉く乱る。
- く. 天下静謐の処、九州事今に鉾楯儀、然るべからず候条、国郡境目相論、互いに存じ分の儀聞こし召し届けられ、追て仰せ出さるべく候。
- け. ^{とうぐう}春宮坊帶刀伴健岑・但馬権守従五位下橘朝臣逸勢等謀反の事發覚す。六衛府をして宮門併て内裏を固守せしむ。
- こ. 文武忠孝を励まし、礼儀を正すべきの事
- さ. 昔し王綱紐を解き、相家権を執り、保平の乱、政權武門に移りてより、祖宗に至り更に寵眷を蒙り、二百余年子孫相受く。
- し. 謀叛の賊義朝の子、年来配所伊豆国に在り。しかるに近日凶悪を事とし、去んぬるころ新司の先使を凌磔す。
- す. ^{わづか}纔に將軍の名を帯ぶると雖も、猶以て幼稚の齡に在り。然る間、彼の義時朝臣、偏えに言詞を教命に仮り、恣に裁断を都鄙に致す。

日 本 史

〔注意〕記述式で解答する場合は解答用紙Aを、マーク式で解答する場合は解答用紙Bを使用せよ。

- 1 次の文章を読み、①文中の空欄 ～ に当てはまる語句を記入せよ（解答用紙A）。②文中の空欄（ 1 ）～（ 8 ）に当てはまる語句を下記の【語群】から選び、その記号をマークせよ（解答用紙B）。③下記の【設問】に答えよ（解答用紙B）。

I. 律令国家は、全国を畿内と七道に区分した。畿内には当初、山背国など4カ国が含まれていたが、757年に（ 1 ）国が設置され、五畿内と呼ばれるようになった。

七道は行政区画であるとともに、主要な官道の名称でもあった。官道は、重要な任務の役人だけが利用できる（ 2 ）が約16キロごとに置かれた。官道のうち、都から大宰府に向う は重要なルートであり、「大路」と格付けされた。大宰府は、外国使節の饗応きょうおうなど重要な役割を担い、その長官は大宰帥と呼ばれた。大宰帥には大伴旅人など多くの公卿が任命されたが、藤原武智麻呂のように現地に赴任しない場合もあった。なお、大宰権帥は、中央官人の左遷先の官職となる場合があった。969年の政変によって大宰権帥となった はその例である。

鎌倉に幕府が開かれると、京と鎌倉を結ぶ東海道が重要な道となった。幕府は、京都の警備や裁判などを扱う役職を置いたが、承久の乱後に北条氏一門が就く が設置され、そのもとで御家人が大番役をつとめた。大番役は、諸国の（ 3 ）が御家人に対し上京して勤番することを催促した。

鎌倉と京都の往来もさかんになった。鎌倉時代の紀行文である『（ 4 ）』には、阿仏尼が訴訟のために京都から鎌倉に下った旅が描かれており、この時期の街道や旅の様子がうかがえる。

II. 江戸時代には、幕府は積極的な街道・宿駅整備を行った。参勤交代で大名やその家臣が移動するようになったほか、商品の流通などによって人やモノの往来(1)が盛んになった。陸上交通では、五街道と脇往還が整備された。主要な街道には関所が設けられ、人々や物資の移動を監視した。甲州街道には小仏、中山道には（ 5 ）などの関所が設置されていた。水上交通も整備され、川や海を利用する運輸網が発達した。幕命を受けた（ 6 ）が西廻り航路を開いたことにより、東北地方からの年貢米を大坂に回漕することが可能となった。そのため大坂には、様々な藩が（ 7 ）と呼ばれる施設を設け、年貢米の保管と売却を行っていた。造船技術も発達した。浅瀬でも航行できる（ 8 ）のような大型船が利用され、河川の舟運が整備された。

交通路が整備され、商人や町人、百姓の中には物見遊山や湯治などを目的とした旅に出る者もいた。江戸時代後期には、各地の旧跡や寺社を紹介した絵入りのガイドブックが刊行された。また文芸(2)においても、江戸から伊勢を経て京都・大坂に至る旅の様子をユーモラスに描いた十返舎一九の

『 D 』が大ベストセラーになるなど、庶民の間に旅が広まっていたことがうかがえる。寺社参詣を目的とする旅は楽しみの一つであり、伊勢参りは特に盛んに行われた。御札が降ったなどのうわさを契機に、多くの民衆が大挙して伊勢参りをする E が約60年に1度の周期で起こった。

【語群】

あ. 新居	い. 十六夜日記	う. 和泉	え. 碓氷	お. 駅家
か. 近江	き. 海道記	く. 掛屋	け. 河村瑞賢	こ. 紀伊国屋文左衛門
さ. 蔵元	し. 蔵屋敷	す. 郡家	せ. 国府	そ. 侍所
た. 地頭	ち. 守護	つ. 角倉了以	て. 高瀬船	と. 樽廻船
な. 東関紀行	に. 箱根	ぬ. 播磨	ね. 菱垣廻船	の. 淀屋辰五郎

【設問】

1. 文中の下線部(1)について、武家諸法度で参勤交代を明文化した将軍を選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。

あ. 徳川家康 い. 徳川秀忠 う. 徳川家光 え. 徳川家綱

2. 文中の下線部(2)について、このガイドブックは観光案内を兼ねた地誌で、摂津国など旧国ごとに刊行されたり、東海道など街道ごとに刊行されたり、様々なバリエーションがあった。こうしたガイドブックを総称して何というか。下記の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。

あ. 瓦版 い. 世話物 う. 名所図会 え. 読本

2 次の文章を読み、①文中の空欄 A ～ E に当てはまる語句を記入せよ（解答用紙 A）。②文中の空欄（ 1 ）～（ 7 ）に当てはまる語句を下記の【語群】から選び、その記号をマークせよ（解答用紙 B）。③下記の【設問】に答えよ（解答用紙 B）。

I. 中央集権化を進める明治政府のもと、1869年、薩摩藩など4藩主は領地と領民を天皇に返還する A を行い、他の藩もこれに続いた。これにより、明治政府は形式上、全国を支配下におくこととなった。しかし、徴税と軍事の権限は従来通り各藩に属したため、藩による実質的な支配はその後も続いた。そこで明治政府は、1871年に藩を廃止して府県を置き、県では中央政府が派遣する（ 1 ）が地方行政にあたることとなった。

II. 1869年、開拓使が設置され、北海道の開拓が進められた。開拓使には、海軍副総裁などを歴任し、五稜郭の戦いで新政府軍と戦った B も出仕した。1882年、開拓使を廃して札幌・函館・（ 2 ）の3県をおいた。

III. 江戸時代の琉球王国は、薩摩藩の支配を受けると同時に、清国を名目上の宗主国としていた。明治政府は、1872年 C を設置し、1879年に琉球処分を強行した。

太平洋戦争末期の1945年3月、アメリカ軍は沖縄本島とその周辺諸島への進攻を開始し、日本軍との間で島民を巻き込んだ激しい戦闘を行い、これらを占領した。アメリカによる沖縄占領は、日本の独立回復後も続き、アメリカ軍の基地が集中する沖縄では日本への復帰を求める運動が続いた。1969年にアメリカの（ 3 ）大統領と日本の佐藤栄作首相による首脳会談において、沖縄返還が合意された。

IV. 1877年に起きた（ 4 ）などの士族反乱や農民一揆を鎮圧した後、政府は地方制度の近代化を図った。1878年にいわゆる地方三新法が制定され、近代日本における最初の統一的な地方制度が整備された。さらに、ドイツ人法律顧問の（ 5 ）の助言により、山県有朋は地方制度改革を行った。1888年に市制・町村制が、1890年には府県制・郡制が公布された。

V. 第1次西園寺公望内閣は、陸海軍の要請を受けて、ロシアとアメリカなどを仮想敵とする帝国国防方針を承認し、軍備拡張政策をとった。しかし、藩閥勢力と対立し退陣したために、後継の第2次（ 6 ）内閣のもとで地方改良運動が推進された。

VI. 世界恐慌の影響は農村部にも及び、米をはじめとする農産物の価格が大幅に下落した。都市の失業者が帰農したこともあり、東北地方を中心に困窮状態に陥る農家が増大し、女子の身売りが続出した。これに対し政府は1932年から時局匡救事業と称して公共事業を行うとともに、 D 運動を開始し、産業組合の拡充などを通じて農民の結束を強めさせた。

Ⅶ. GHQ は、農民の窮乏化が日本における軍国主義の拡大に繋がったとして、寄生地主制を廃し、安定した自作農を創設するために農地改革の実施を日本政府に求めた。日本政府は、第一次農地改革を決定したが、これを不十分とみた GHQ は、勸告案を出した。それに基づいて公布された自作農創設特別措置法などによって、第一次 E 内閣のもとで第二次農地改革が実施された。これにより、不在地主の全貸付地、及び、在村地主の貸付地のうち都府県平均で1町歩、北海道では(7)町歩をこえる分は、国が強制的に買い上げて、小作人に優先的に安く売り渡されることとなった。

【語群】

- | | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|----------|
| あ. 旭川 | い. 網走 | う. ケネディ | え. 桂太郎 | お. 加藤高明 |
| か. グナイスト | き. 県令 | く. 8 | け. 佐賀の乱 | こ. 幣原喜重郎 |
| さ. 神風連の乱 | し. 西南戦争 | す. 知藩事 | せ. ニクソン | そ. 根室 |
| た. ハーディング | ち. モッセ | つ. ロエスレル | て. 4 | と. 2 |

【設問】

1. 文中の下線部(1)について、内容の説明として誤っているものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
 - あ. 郡区町村編制法により、旧来の郡・町・村が廃止され、大区・小区が新たな行政単位として導入された。
 - い. 府県会規則により、各府県において府県会が設置され、府県予算案の部分的な審議権が与えられた。
 - う. 地方税規則により、これまで複雑であった諸税を地方税に統一し、府県財政の基盤を強化した。
 - え. 地方三新法は、各地域の実情に合った地方制度を求める大久保利通の意見書を受けて実現した。

2. 文中の下線部(2)について、内容の説明として誤っているものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。
 - あ. 郡会議員は、町村議会議員の投票と大地主の互選によって選ばれた。
 - い. 市長は市会の推薦する候補者から府県知事が任命した。
 - う. 府県会議員は、郡会議員などによる間接選挙で選ばれた。
 - え. 町村長は町村会による公選で選ばれた。

3. 文中の下線部(3)について、内容に関連した説明として誤っているものを次の選択肢から一つ選び、その記号をマークせよ。

あ. この運動の背景として、日露戦争後、地租や間接税の負担が増大したことで、農村部の困窮が社会問題となったことがあった。

い. この運動は農商務省が中心となって行われた。

う. 旧町村の青年会は町村ごとに再編成された。

え. 戊申詔書がこの運動の指導理念となった。

日本史の試験問題は次に続く。

3 次の史料とそれを解説した文章を読み、①文中の空欄（ 1 ）～（ 9 ）に当てはまる語句を下記の【語群】から選びその記号をマークせよ（解答用紙B）。②下記の【設問】に答えよ（解答用紙B）。なお史料はわかりやすくするために改めたところがある。

I. 皇帝、日本国王（ 1 ）に勅諭す。奏を得るに、本国、乱を経て、公庫、索然たり。永楽年間の事例に照らして、銅銭を給賜し、賑施するを要す。…（中略）…ここに王の意に違わず、特に銅銭五万文を賜う。

この史料は、明の皇帝が日本国王である（ 1 ）に与えた勅諭である。日本側が応仁の乱による財政の逼迫を訴えたことに対し、その要求に応じたものである。この勅諭が言及する「永楽年間の事例」とは（ 2 ）が勘合貿易を開始したことを指している。

II. 異国の賊徒、刀伊か高麗か、その疑い未だ決せず。今、刀伊の撃たるるを以て、高麗の所為ならざるを知る。ただし（ 3 ）はもと敵国なり。国号の改むることありと雖も、なお野心の残ることを嫌う。

刀伊は沿海州に住む女真族であり、対馬から九州北部を襲い、多くの住人が連れ去られた。この時、大宰権帥（ 4 ）が指揮して戦った。同じく刀伊の被害を受けた高麗は日本から帰ってきた刀伊を討ち、捕らえられた人々を救出し送還した。この史料は高麗の情報を得た役人による報告書であり、高麗の前の王朝（ 3 ）に対する強い警戒心が残っていた。

III. 馬島は日本と朝鮮の間にあり。常にひそかに寇盗し、その王令にもまた従わず。今予これを討ち、その王これを聞かば、必ずこれを喜ぶならん。

朝鮮は日本に倭寇の禁遏を求めたが、実効性に乏しかった。史料によると、倭寇の討伐は日本の王も歓迎するだろうと、朝鮮は馬島（対馬）に派兵した。しかし、朝鮮の軍隊は撃退された。この後、朝鮮の使節として日本に来た宋希璟は、日本での見聞を『（ 5 ）』に書き残している。

IV. 上天の眷命せる大蒙古国の皇帝、書を日本国王に奉る。朕惟うに、古より小国の君は境土相接すれば、なお講信修睦に努む。…高麗は朕の東藩なり。日本は高麗に密邇し、開国以来、また時として中国に通ぜり。朕が躬に至りては、一乗の使をもって和好を通ずることなし。

この史料は、高麗を服属させた大蒙古国が日本に朝貢を求めたものである。しかし日本は応じなかった。この後、大蒙古国は高麗国内における抵抗を鎮圧し、2度にわたり日本に派兵した。この時、得宗（ 6 ）は御家人を動員して蒙古との戦いに備えた。

V. 去年四月、釜山浦の令公、下着以来、重々新法度を立て、日本人に対し矛楯を企つ。…故をもって対州代主宗兵部少輔盛親を大将として、数万の兵船にて釜山浦へ乗り渡り、令公が父子兄弟を打ち殺し、頸を刎ねて門前に掛けたり。…今日、令公の頸を早船をもって対州に渡せり。

朝鮮が親日的政策を進め通行が盛んになると、朝鮮と対馬島主との間で（ 7 ）が結ばれ通交の条件を取り決めた。釜山浦などに居留する日本人は恒居倭人と呼ばれ、居留地も造られた。しかし朝鮮が取り締まりを強めると、恒居倭人は反乱を起こした。この史料によると、対馬の宋氏が釜山浦に派兵し、取り締まりを強めていた令公（地方長官）を殺害したことがわかる。

VI. 王行則、勅を奉じて件の東蕃を征す。没落して同船の一百余人はともに賊に擒^{とりこ}とせられ、これを倭国に送る。一身に逃竄^{とうざん}し有^{さいわい}遇に還帰せり。麟徳二年九月十五日、此の宝塔を造る。

中国に渡った円仁は、仏教の聖地である五台山に巡礼する旅の途中、渤海湾に面した山東半島の村で見た碑文を旅行記『（ 8 ）』に書き記した。それがこの史料である。王行則という人物は唐の外征に従軍し、捕虜となったが、脱出して帰郷した。ここにみえる東蕃の征討とは、唐が（ 9 ）を滅ぼした時の出兵と考えられる。

【語群】

- | | | | | |
|---------|---------|--------|---------|-------------|
| あ. 足利義満 | い. 足利義教 | う. 百済 | え. 北条時頼 | お. 海東諸国記 |
| か. 壬申約条 | き. 足利義持 | く. 渤海 | け. 新羅 | こ. 老松堂日本行録 |
| さ. 藤原伊周 | し. 懐良親王 | す. 高句麗 | せ. 癸亥約条 | そ. 北条時宗 |
| た. 北条貞時 | ち. 藤原隆家 | つ. 渡宋記 | て. 足利義政 | と. 入唐求法巡礼行記 |

【設問】

史料に示された出来事を古いものから並べた時、4番目になるものを選び、その記号をマークせよ。

- あ. I い. II う. III え. IV お. V か. VI